



2021年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年7月14日

上場会社名 エスフーズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2292 URL <http://www.sfoods.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村上 真之助
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 湯浅 庸介 (TEL) 0798 (43) 1065
 四半期報告書提出予定日 2020年7月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期第1四半期の連結業績(2020年3月1日~2020年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第1四半期	77,531	△10.1	1,894	△23.3	1,630	△35.5	1,177	△20.6
2020年2月期第1四半期	86,253	5.6	2,471	△16.9	2,525	△15.0	1,482	△18.4

(注) 包括利益 2021年2月期第1四半期 1,775百万円(-%) 2020年2月期第1四半期 33百万円(△98.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第1四半期	37.17	—
2020年2月期第1四半期	46.81	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年2月期第1四半期	181,256	87,085	44.5
2020年2月期	171,071	86,348	46.8

(参考) 自己資本 2021年2月期第1四半期 80,697百万円 2020年2月期 80,062百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期	—	30.00	—	30.00	60.00
2021年2月期	—	—	—	—	—
2021年2月期(予想)	—	32.00	—	32.00	64.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年2月期の連結業績予想(2020年3月1日~2021年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	330,000	△6.2	8,000	△25.3	8,200	△26.0	7,200	10.6	227.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 社(社名) 、除外 社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年2月期1Q	32,267,721株	2020年2月期	32,267,721株
② 期末自己株式数	2021年2月期1Q	598,594株	2020年2月期	597,994株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年2月期1Q	31,669,469株	2020年2月期1Q	31,666,152株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項につきましては、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結会計期間における日本経済は、感染が広がる新型コロナウイルス感染症の影響で多くの業界において未曾有の危機的状況に陥りました。当食肉業界においては、業態に濃淡はあるものの、海外からの渡航規制と広範囲にわたる営業自粛のため、高級商材を中心に打撃を受けております。

このような状況のもと、当社グループは、食品の供給というエッセンシャルワークを行う事業者として、食肉商品の安定的供給と事業継続のための方策を模索しました。

食肉等の製造・卸売事業においては、安定的に事業を継続することを主眼に諸施策を行いました。営業、製造それぞれの現場において、感染防止のための衛生管理の徹底、勤務体制の見直し、事業継続計画の実施などを行い、食品の流通に支障が出ないように業務を遂行いたしました。特に、製造事業においては、国民の生活様式の急激な変化による新たな需要に対応するため、新たな製品作りに取り組みました。

食肉等の小売事業においては、対策本部を設置のうえ、意思決定や情報共有を円滑に図るとともに、地域の方の毎日の生活を支えるという使命のもと、お客様に安心・安全な食品をお買い物いただくことができるよう日々の店舗運営維持に努めてまいりました。

食肉等の外食事業においては、3月に至り、特に大型商業施設の一斉休業から複数の店舗で休業となり、その後首都圏店舗を中心に多くの店舗が休業を余儀なくされる事態となりました。その間、今後の営業再開を目指し、様々な感染症拡大予防への対策を準備するとともに、デリバリー需要の獲得など新たなサービスや付加価値を提供していただけるよう推進しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、新型コロナウイルス感染症の影響で販売価格が下落したことなどにより、売上高775億3千1百万円（前年同四半期比10.1%減）、営業利益18億9千4百万円（前年同四半期比23.3%減）、経常利益16億3千万円（前年同四半期比35.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益11億7千7百万円（前年同四半期比20.6%減）となりました。

続いて、セグメントごとの業績は次のとおりであります。なお、売上高は外部顧客への売上高を記載し、セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

①食肉等の製造・卸売事業

売上高は695億5千1百万円（前年同四半期比11.7%減）、セグメント利益は16億1千7百万円（前年同四半期比33.4%減）となりました。

②食肉等の小売事業

売上高は58億3千5百万円（前年同四半期比11.8%増）、セグメント利益は5億7千9百万円（前年同四半期比101.1%増）となりました。

③食肉等の外食事業

売上高は18億2千4百万円（前年同四半期比5.4%減）、セグメント利益は2千1百万円（前年同四半期比74.2%減）となりました。

④その他

売上高は3億1千8百万円（前年同四半期比2.7%減）、セグメント損失は5千万円（前第1四半期連結累計期間3千6百万円の利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて101億8千4百万円増加し、1,812億5千6百万円となりました。これは主に、売上高減少に伴う売上債権が減少した一方で、現金及び預金の増加及びたな卸資産の増加によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて94億4千8百万円増加し、941億7千1百万円となりました。これは主に、借入金の増加によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて7億3千6百万円増加し、870億8千5百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加及びその他有価証券評価差額金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月期第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、本年4月14日に発表いたしました内容に変更はございません。

なお、上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって、予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	30,644	35,888
受取手形及び売掛金	37,314	35,573
商品及び製品	21,723	27,046
仕掛品	1,215	1,276
原材料及び貯蔵品	2,778	3,453
その他	3,692	3,534
貸倒引当金	△140	△126
流動資産合計	97,228	106,645
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	52,764	54,515
減価償却累計額	△24,401	△24,203
建物及び構築物（純額）	28,363	30,311
土地	17,363	16,893
その他	35,756	33,839
減価償却累計額	△22,352	△21,954
その他（純額）	13,403	11,884
減損損失累計額	△2,099	△2,014
有形固定資産合計	57,030	57,074
無形固定資産		
のれん	168	151
その他	557	583
無形固定資産合計	726	734
投資その他の資産		
投資有価証券	12,622	13,325
退職給付に係る資産	117	118
その他	3,621	3,567
貸倒引当金	△276	△210
投資その他の資産合計	16,085	16,801
固定資産合計	73,842	74,610
資産合計	171,071	181,256

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,569	30,810
短期借入金	8,952	18,191
未払法人税等	1,823	1,061
賞与引当金	1,000	1,422
その他	12,231	11,755
流動負債合計	52,577	63,242
固定負債		
社債	1,120	1,040
長期借入金	26,730	25,346
役員退職慰労引当金	198	202
退職給付に係る負債	1,989	1,993
その他	2,107	2,345
固定負債合計	32,145	30,929
負債合計	84,722	94,171
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,298	4,298
資本剰余金	18,707	18,709
利益剰余金	54,801	55,028
自己株式	△418	△418
株主資本合計	77,389	77,618
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,414	2,876
繰延ヘッジ損益	△11	△7
為替換算調整勘定	299	237
退職給付に係る調整累計額	△29	△26
その他の包括利益累計額合計	2,673	3,079
非支配株主持分	6,286	6,388
純資産合計	86,348	87,085
負債純資産合計	171,071	181,256

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年5月31日)
売上高	86,253	77,531
売上原価	74,503	66,002
売上総利益	11,749	11,529
販売費及び一般管理費	9,278	9,634
営業利益	2,471	1,894
営業外収益		
受取利息	11	18
受取配当金	43	4
受取家賃	41	36
持分法による投資利益	2	7
その他	119	115
営業外収益合計	217	183
営業外費用		
支払利息	67	68
アレンジメントフィー	—	106
為替差損	64	208
賃貸原価	18	26
その他	13	37
営業外費用合計	162	446
経常利益	2,525	1,630
特別利益		
固定資産売却益	0	695
投資有価証券売却益	0	—
補助金収入	—	184
負ののれん発生益	30	—
受取保険金	5	—
受取補償金	31	3
特別利益合計	67	883
特別損失		
固定資産処分損	33	13
減損損失	—	8
店舗閉鎖損失	—	10
店舗休止等損失	—	5
災害による損失	30	—
固定資産圧縮損	—	181
その他	0	—
特別損失合計	63	219
税金等調整前四半期純利益	2,530	2,294
法人税等	934	931
四半期純利益	1,595	1,362
非支配株主に帰属する四半期純利益	113	185
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,482	1,177

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)
四半期純利益	1,595	1,362
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,597	469
繰延ヘッジ損益	7	3
為替換算調整勘定	30	△56
退職給付に係る調整額	△0	2
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	△6
その他の包括利益合計	△1,562	413
四半期包括利益	33	1,775
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△72	1,582
非支配株主に係る四半期包括利益	105	193

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)
税金費用の計算	当社及び一部の連結子会社については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症による影響については、不確実性が大きく将来の事業計画等の見込数値に反映させることが難しい要素がありますが、見積り項目に与える影響は軽微であると考えております。

そのため、新型コロナウイルス感染症拡大前と同様の仮定を置いて固定資産の減損等の会計上の見積りを行っております。ただし、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化した場合には、将来の連結財務諸表に重要な影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自2019年3月1日至2019年5月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額(注)3
	食肉等の 製造・卸売事業	食肉等の 小売事業	食肉等の 外食事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	78,775	5,220	1,929	85,925	327	86,253	-	86,253
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,084	40	98	2,223	49	2,272	△2,272	-
計	80,859	5,261	2,027	88,148	376	88,525	△2,272	86,253
セグメント利益	2,429	288	84	2,802	36	2,839	△368	2,471

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲料水製造・販売事業及び冷蔵倉庫業等であります。
2. セグメント利益の調整額△368百万円には、セグメント間取引消去△35百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△332百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社及び一部子会社の間接部門の一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要な該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自2020年3月1日至2020年5月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額(注)3
	食肉等の 製造・卸売事業	食肉等の 小売事業	食肉等の 外食事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	69,551	5,835	1,824	77,212	318	77,531	-	77,531
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,931	53	61	2,046	101	2,148	△2,148	-
計	71,483	5,888	1,886	79,258	420	79,679	△2,148	77,531
セグメント利益 又は損失(△)	1,617	579	21	2,219	△50	2,168	△274	1,894

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲料水製造・販売事業及び冷蔵倉庫業等であります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△274百万円には、セグメント間取引消去50百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△325百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社及び一部子会社の間接部門の一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要な該当事項はありません。